



みつけJobチャレ教育 ～令和7年度各校の活動計画・予定～

学校名	対象学年	中核となる活動や行事 (予定月日)	目的・ねらい	主な活動内容
見附小学校	1年生	生活科 「家族にここへ大作戦 ～お手伝い名人になろう～」 発表会 令和7年11月16日(日)	家の中の仕事を調べたり体験したりすることを通して、家族の一員としての自覚と貢献意欲を育てる。	○家の中の仕事を知る→思いをもつ ○お仕事を体験する ○自分ができるところを考える ○家族の思いを知って、思いを強くする ○実践する・振り返る
	2年生	生活科 「だんけん (令和7年9～11月) 発表会 令和7年11月16日(日)	自分たちの住む地域の良さや暮らしに気づき、地域に愛着をもって大切にしたり、自分の生活と町との結びつきを考えたりする子どもを育てる。	○働く人にインタビューして、働く人の工夫や思いを聞く。 ○町探検でお世話になった方々や、地域・保護者の方々に対して、自分たちの発見した町の良いところや働いている人の工夫や思いについて発表する。
	3年生	総合的な学習の時間・社会科 「見附市を区別してきな人マップをつくろう」 (令和7年5月～令和8年2月) 発表会 令和8年2月10日(火) 予定	自分の住んでいる地域と地域のために努力をしている人々について知識や理解を深め、自分も地域に貢献しようという意欲をもつ子どもを育てる。	○地域の3名のコミュニティセンター長さんから、地域に貢献しているすてきな人を紹介してもらう。 ○紹介された方々から、自分たちがもっと詳しく知りたい人を見つけ、インタビュー活動を通して仕事や活動の内容、思いを知る。 ○調べたことをまとめ、「見附すてきな人マップ」にまとめる。
	4年生	総合的な学習の時間 「見附市の水害に対する取組について調べ、発表する活動」 防災スクール 令和7年8月28日(木) 29日(金) 発表会 令和7年11月16日(日)	地域社会の一員として、過去に起きた水害被害から学び、自然災害に強いまちづくりを行っている見附市の取組を知り、家族、地域の方にも、情報を発信しようとする子どもを育てる。	○7、13水害の被害について、情報を集める。被害に遭われた方から話を聞き、当時の様子を知る。 ○水害についてより詳しく調べたいテーマを自分で決め、共通のテーマのチームを作り、市役所の防災担当の方、消防署の方、当時避難所施設に関わった方などに取材して情報収集する。 ○集めた情報を整理分析し、家族や地域の方による情報を知ってもらうことが、次の災害への備えとして有効という視点でプレゼンテーションの資料を作る。 ○最終的には、子育て教育の日家族や地域の方に向けて、調べたことを発表する。
	5年生	総合的な学習の時間・社会科 「私たちの命を支える食 ～米づくりにおける現代の課題と地域社会への提案～」 発表会 令和7年11月16日(日)	米づくりの特徴や課題を調べたり、米づくりの各工程を体験したりすることを通して、生産者や消費者の立場からこれらの食について考えたことを実行、発信する力を備えた子どもを育てる。	○子どもたちが田植えや稲刈りなどの体験をしたり、自分たちでもバケツ稲を育てたりして、米づくりの工程を理解し、その大変さや課題に気付く。 ○課題解決のために自分たちができるところを考える。 ○考えたことを実行する。 ○発信する・振り返る
	6年生	総合的な学習の時間 「ふるさと見附の将来を考える ～ふるさとの魅力から提案まで～」 発表会 令和7年11月16日(日)	見附市の魅力や課題を調べたり体験したりすることを通して、市民としての誇りや市へ参画する力を備えた子どもを育てる。	○子どもたちが地域に出向いたり、調べ学習をしたりする中で、見附の魅力や課題を発見する。 ○魅力を多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいか、課題を解決するためにできることは何かを考える。 ○魅力や課題の発信方法を考える。 ○発信する・振り返る
見附第二小学校	1・2年生	生活科 「作ってあそぼう うごくおもちゃ」 (9月～11月)	身近なものを利用しておもちゃを作る活動を通して、試行錯誤しながらおもちゃを作ったり、遊び方を工夫したりして、友達と関わり合いながら自分のおもちゃのよりよい遊び方やルールを創り出す。	○身近なものからおもちゃを作る。 ○作ったおもちゃを強化(パワーアップ)させる。 ○保育園に行き、園児に自分が作ったおもちゃの遊び方を説明し、楽しんでもらう。 ○身の回りの職業を調べる。 ○お家の方や地域の方からインタビューに答えてもらう。 ○地域の職場見学をする。 ○生涯学習として卓球バレーを通して、講師の先生から生き方について学ぶ。 ○見学や講話、自分たち調べたことを、壁などにまとめる、発表会を行う。(学習参観などで)
	5・6年生	総合的な学習の時間 「くらしを支える様々な職業」 (4月～10月)	私たちの暮らしを支える職業について調べることを通して、社会生活を支える職業にはたくさん種類があることや、働く人々は自分の職業にやりがいや誇りや夢をもって携わっていることを理解し、働くことの尊さや誇りに気づき、自分の将来について考える。	○身の回りの職業を調べる。 ○お家の方や地域の方からインタビューに答えてもらう。 ○地域の職場見学をする。 ○生涯学習として卓球バレーを通して、講師の先生から生き方について学ぶ。 ○見学や講話、自分たち調べたことを、壁などにまとめる、発表会を行う。(学習参観などで)
名木野小学校	5年生	社会科 「未来をつくり出す工業生産 自動車の生産にはけいむ人々」 授業日 令和7年11月予定	地域で働く人のお話から、仕事にかけの思いや製品づくりへの願いや努力を知る機会にする。	○昔と今の自動車を比較し、今の自動車が様々な面で高性能になっていることを学習する。 ○高性能の自動車を大量に生産できる今の生産について関心をもち、学習問題を生徒たちで考える。 ○実際に自動車の生産に携わる方のお話を聞くことで、願いや努力を知り、これからの学校生活に生かす。
	6年生	総合的な学習の時間・学校行事 「出前授業及び出前授業をふまえた児童会祭りの模擬店出店」 9月以降 4日間 令和7年11月16日(日)	経営者の体験等を取り入れた授業を受け、自分の将来について深く考えたり、模擬店の準備、運営を通して、将来の社会を主体的に生き抜く力や社会に働ける力を育成したりすることを目指す。	○経営者の仕事の内容や仕事に対する情熱などを知り、成功に至るまでの苦労話を聞くことで、働くことの意義ややりがいを知る。 ○地域の実際の課題に触れることで、課題解決能力や創造性を養う。 ○一連の活動を通して、自分の興味や関心、適性について深く考えたり、課題発見・解決能力や企画力・提案力、さらにはチームワークや協調性を育成する。
田井小学校	1～6年	学校行事 みづば食堂 令和7年11月16日(日)	保護者、地域の方々を対象に、全校児童が生産から調理、販売までかわかることのできる食堂を開くことで出店体験をし、起業家精神や必要な資質・能力を養うことができるようにする。	○学年ごとにサツマイモ、シタケ、もち米を栽培する。 ○栽培方法や調理方法を学ぶ。 ○食費の運営や調理には、児童が主体となって取り組む。地域の方々にも協力を仰ぎ、より良い運営の仕方を探る。 ○児童が栽培した作物で作ったサツマイモ・シタケおかわを地域の方々にかける。
葛巻小学校	6年生	総合的な学習の時間 「先輩から学ぼう」 「We Love くすまき われらのまちづくりプロジェクト」 発表会 令和8年2月12日(木) 予定	「その道のプロ」の方から話を聞き、人間としての生き方を学び、自分の生き方を見つめ直すとともに、地域のために、自分たちにできることはないかを考え、計画・実行する。	○出前授業で、見附で頑張る会社の方や弁護士、海上保安庁、介護士など色々な職種の方から話を聞く。 ○葛巻地区まちづくり協議会の活動を知り、地域のために自分たちにできることはないかを考える。 ○最終的には、授業参観で、地域のために「自分たちが考えて実行したこと」「なりたい自分」を発表する。
新潟小学校	3年生	総合的な学習の時間 「いちおしミツケ！マップをつくろう！」 (第1回完成：7月下旬 第2回完成：2学期) 学級活動 あおぞら会議 (1学期後半～3学期末)	見附市の魅力を一人一人が捉えたとともに、その魅力について文章を用いて表現することができる。	○見附の魅力がたくさんあることに気付く。 ○気付いたことを伝えようとする努力をする。 (発信先：他学年、保護者、地域の方など) ○仲間と共によりよいものを完成させようとする。
	3年生	学級活動 あおぞら会議 (1学期後半～3学期末)	クラスの課題について、みんなでアイデアを出し合い、解決を目指す。自治的学級集団を目指す。	○クラスのみんなと協力して課題を解決するよさや自分だけでなく仲間の意見にも耳を傾けることの大切さに気付く。 ○みんなで決めたことをみんなでも守ろうとする意識を高めることを目指して活動に取り組む。
上北谷小学校	1～6年	学校行事・生活科・総合的な学習の時間 ①上北オースタムフェスティバル 令和7年11月16日(日) ②生活・総合学習発表会 令和8年1月30日(金)	地域にくらしに根差した豊かな体験活動を通して課題を見つけ、地域の人や自然とのふれ合いの中で課題を追究し、自らの生き方考え、意欲を育み、たくましく生きる力を育てる。	＜1・2年生＞上北谷ゆめづくり協議会レインボウと連携し、作物の栽培・収穫に取り組むことで、地域の一員としてのコミュニケーション力を育てる。 ＜3・4年生＞校区の探検活動を通して地域の方から様々なお話を聞き、情報を整理したり課題を見つけたりする。学習したことをどのような形で伝えれば効果的か考え、工夫しながら発信に取り組む。 ＜5・6年生＞地域の「農林業」の皆さんの協力のもと、循環型農園活動の中心として取り組む。作物栽培の難しさ、失敗したときの対処、できた作物の活用など、様々な方々のお話を聞きながら考える。「上北谷の農業」を基盤としつつ、他の農業の取組についても調べ、発信する活動に取り組む。
今町小学校	6年生	総合的な学習の時間 「人のよさ、働いている人の話を聞きはたらく」を考える。 (令和7年4月～令和8年2月)	「はたらく」ことを考えることを通して、自分の将来について目を向けることができる。	○自分自身や仲間、自分に関わる人達のよさを見つける。 ○働く意義や興味について課題を置いて考える機会を設ける。 ○職業調べや自分の適性を知る時間を設ける。 ○これからの自分について考えてまとめる。
見附中学校	1年生 2年生 3年生	学校行事・総合的な学習の時間 友和祭 令和7年11月16日(日) ・サツマイモ栽培(5月～11月) ・サツマイモの調理、商品化、企業との打ち合わせ ・イベント出店の準備	地域と共に考え、共に創る活動を通して、生徒の問題解決能力と自己肯定感を高める。	○地域イベントに参画したり、ボランティアバンクを通して活動に参加したりすることで、地域との交流を深める。 ○地域の有識者の方から助言、協力を得ながらサツマイモの栽培を全校生徒で行う。 ○地域の商店にサツマイモを使った調理や、商品化について企画することにも、広告などの可能性についても打ち合わせを行う。 ○友和祭のイベント出店について、全校がグループごとに企画する。必要に応じて、地域の資材などの協力を依頼する。 ○友和祭当日、サツマイモの試食や商品販売を中心として、グループごとのイベント店を運営する。
	2年生 3年生	総合的な学習の時間・学校行事 ～見附のお土産プロジェクト～ 2年生:修学旅行 令和8年2月9日(月)～2月11日(水) 3年生:発表会 2月	故郷を愛する心をもち、地域に貢献しようとする心を育てる。	○見附市のお土産を調べる。 ○修学旅行先で、お土産の販売店や会社インタビュー活動をする。 ○外部講師から、見附市の課題や起業家精神などの講演をしていただく。 ○修学旅行で学習した関西のお土産の商品化や販路に関する戦略や方法を参考に、観光で訪れる人や交流人口を増やすために、会社を設立して、お土産を開発する。 ○外部の方を招いて、プレゼンテーションを行う。
今町中学校	2年生	総合的な学習の時間・学校行事 職場体験学習 令和7年8月27日(水)、28日(木)	自分の適性や興味・関心にあった内容の仕事を選択し、体験させることにより、将来の進路選択に役立てようとする。地域での仕事の体験を通して、社会の一員としての立場を自覚させ、働くことの必要性や尊さを実感させる。	○事業所の方に仕事に携わる人の苦労や喜び、生きがいなどを学ぶ。 ○仕事を発見したり、実際に体験したりする。 ○社会人としてのマナーや目上の人に対する礼儀、言葉遣いについて実践する。 ○事業所から生徒に、商品開発、集客や接客、PRの工夫、人材確保、地域貢献など、普段事業所で課題となっていることの中で、生徒が自分たちなりの解決策や企画を考え、可能な範囲で実践する。
西中学校	3年生	総合的な学習の時間 起業体験学習 (令和7年7月～令和7年11月) 販売日 令和7年11月16日(日)	自らが生活する地域社会において、起業体験学習「株式会社○○」を設立・運営することとおして、勤労体験の尊さや金銭感覚を学ぶ。また、地域とかわかり、地域を起すことの意味を知る。【社会とかわかる】 自らが起業体験学習「株式会社○○」の社員として働くことをとおして、目的のため自ら考え、実践していく力を養う。仲間と協働していく中で、自分のキャリアプランを捉え、自己の進路選択にいかしていく。【自分を起す】	○各クラスに2社(計6社)の会社を起業し、会社設立の流れを実践する。 ○各社を設立する。(生徒は社長・会計・製造部・営業部に所属する) ○会社理念や販売商品を決める。 ○販売商品の試作を行い、販促計画を立てる。 ○株式会社(保護者)で販売計画を示し、出展を募る。 ○商品を販売する。 ○株式会社で収支報告をし、株主へ配当金を分配する。
見附特別支援学校	中学部 1・2・3年生	職場見学 令和7年10月27日	働く現場を見学することにより、見聞を広めるとともに、企業の方から働く喜びや仕事を学ぶ上で大切にされていることを学ぶ。就労する際に必要な力などなにかを知り、自分自身と向き合い、就労意欲を高める。	○企業の施設や仕事内容の説明を聞く。 ○職場で働いている方々の様子を見学する。 ○自分たちで考えた質問を、実際に職場の方に受けてもらう。 ○職場見学で感じたこと・わかったことをポスターにまとめ、校内で発表する。
	高等部 1・2・3年生	後期職場・校内実習 令和7年10月27日(月) ～11月14日(金)	実際の産業現場(一般企業または福祉サービス事業所)または校内の支援プログラムのなかで働く経験を積み、働くために必要な力(知識、技能、態度等)を身に付ける。社会生活、職業生活における適性や課題を整理し、本人、保護者、支援者の共通理解のもと、進路選択や指導、支援の改善に役立てる。	職場実習・生徒の日々の学習実態や本人および保護者の進路希望をもとに、一人一人に合った実習先や期間で就労体験を積む。 校内実習：校内を職場と見立てた作業時間や環境とした中で、働くための基礎的な力を養う。 校外実習：校外実習の目的を十分理解し、実習に臨む心構えや態度・作業技術、安全面、人間関係について学ぶ。 ○職場、保護者、学校から必要な支援を受け、決めた期間、目標をもって実習をやり遂げることができる。 ○実習後、自己・他者(実習先・学校からの)評価表をもとに、自分自身の適性や課題に気付く、主体的な進路選択ができるようになる。